

比喩の作り方

今回紹介する比喩のは2種類！！

1. A is like B

2. 具体名詞 of 抽象名詞

- **たとえば、Life is like a journey**

人によって捉え方の違う単語を自分の意見を踏まえて違う単語に置き換える。
時は金なり 直球で断言したいときに使おう。

- **たとえば、Hole of loneliness**

これは、オープンスピーカーが使ってた表現！

一言では説明できない抽象的な名詞を誰でもわかるような具体的な単語で説明する。

この場合の of は同格の of 。 **Loneliness=Hole** で説明している。

この比喩のいい点は、ストーリー性を持たせることができること。

Hole という暗いイメージの中にいるときに。次の展開として、Light of hope などに対比させることで、明暗の対比とともに孤独感が希望に変わっていく過程を説明することができる。

僕が現役だったときはアイデンティティという曖昧なトピックを扱っていたので、種という固定名詞で表現してみました。その時の大会のコンセプトは“Seeds” “Hope to bloom”

だから、**seed of identity** を **bloom** できる！自分が思っている自分の姿を表現するみたいなことが言いたかったのかな？笑

大会のコンセプトなんかとも合わせて、自分の都合のいい具体名詞に置き換えられる点が良いところ。

比喩はレベルの高いレトリック。タイトルで使う人もいれば文中で使う場合もある。
アゴラや部室にあるスピーチ集を読むと多くのスピーカーが比喩を使っているのがわかる。

どどん技は尊敬する人から学んで勉強しておこう！

レトリックはジャッジングポイント